

金田町人の動き

(12月1日現在)

世帯数 2,582  
 人口 9,431  
 男 4,620 女 4,711  
 出生 4 死亡 5  
 転入 58 転出 88

# かなだ

第169号

金 田 町 報

発行所 金田町役場総務課

編集兼 藤川 義 臣  
発行人

印刷所 栗林印刷所

電話 (09474) ② 0506番

上金田浄水場から金田町を望む



## 賀 正

### 年頭の挨拶

金田町長 大井 撈



昭和五十四年の新春を迎え、町民皆様方の御健勝と御多幸を心からお祈り申し上げます。

順調な発展を続けて来た日本経済は昭和四十八年秋のオイルショックを契機に高度成長から安定成長への大きな転換を余儀なくされるに至りました。爾来現在に至るまで不況長期化の中で設備投資の停滞や消費の不振が続き、景気回復が遅らせている。一方において不況に伴う税収の落ち込みをカバーし、他方において景気刺激のための公共事業等不況対策に充てる財源調達に迫られて、国や地方自治体ともに巨額の国債、地方債の発行余儀なくされるという借金財政がここ数年続いている実態にあります。

特に弾力性に乏しい地方財政にとっては今後これが運営に極めて厳しいものがあるといわざるを得ないであります。

こうした中で迎えた昭和五十四年度の町行財政は昨年以上の困難が予想されますが町民皆様から信託を受け町政を預からせて頂きまして三年目、意を新たにしてお務めを全精力を傾注して対処する覚悟であります。

そこで本年度における私の施政に対する基本的な方針は昨年同様一貫しておりまして住民意識を尊重し住民生活に密着した福祉の充実、社会、生活環境の整備農工業を中心とする産業振興は勿論、教育施設(小学校全面改築三階建)土木施

### 政 則

設、住宅等諸施設の整備を促進すると共に、同和対策の推進、飲害認定の促進や復旧、労働四事業の円滑な遂行、広域行政(下田川四ヶ町総合病院の新設、堀川国鉄用地早期払下げの実現あるいは高等学校の誘致、特に住民が強く希求している町民会館の新設につきま

に苦慮している現状であります。そこで制度事業の充実強化や産炭地で完全雇用のできる企業の場を設ける施策を重大決意をもって強力に県や国に向け要請する時期が到来して居ります。このことは産炭地自治体の共通した悩みであり、地域住民と一体となって運動を展開すべきものであります。以上幾多山積する諸問題を早期実現すべく最大の努力をいたして参る所存で御座います。

### 1月のこよみと行事

和名	睦月(むつき)
年のはじめに家庭や多くの人びとがたがいに睦みあいをかさねることを略したもの	
1日	元日・初もうで
2日	初荷・書初め
4日	官庁御用始め
7日	消防出初式 七草がゆ
11日	鏡開き
15日	成人の日
19日	乳児検診
24日	心配ごと相談
28日	旧正月